

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ  
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

## 令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード  )

※校園コードを入力してください。

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額  円 → 決算額  円

### 2 配付上限額

学校配当		(学級数		特別支援学級数		学級配当
<input type="text" value="350,000"/>	+	<input type="text" value="6学級"/>	+	<input type="text" value="2学級"/>	×	<input type="text" value="50,000"/>
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。						
配付上限額						
=	<input type="text" value="750,000"/>					

### 3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

○平成30年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報発信をよく行っている」と答える保護者の割合を前年度(67.3%)より増加させる。  
○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を前年度(前年度82.1%前々年度82.1%)より増加させる。  
○年度末の校内調査(図書室の貸し出し状況)において「一週間に1冊は本を読んでいる」児童の割合を前年度(82%)より増加させる。  
○年度末の児童アンケートにおいて「嫌いな食べ物でも食べるようにしている」と答える児童の割合を、前年度(94.6%)以上にする。

目標に対する達成状況(取組完了時)

○令和元年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報発信をよく行っている」と答える保護者の割合を前年度(67.3%)より増加させる。⇒本年度65%  
○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を前年度(前年度82.1%前々年度82.1%)より増加させる。⇒本年度80.0%

達成

C

### 4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】  
対話や交流等、多様な言語活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようにする。また、読書環境のさらなる充実を図り、読書習慣の定着に努める。  
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】  
多様な体験活動を通して、児童自らが自主的・自発的に学びに取り組む機会を充実させる。また、到達度テスト等を用いて、各教科における観点別評価を効果的に行い、児童一人ひとりの学力向上を図る。

### 5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

指標①論理的思考力を身につけるために、語彙力向上の6分野(比較・順序・類別・理由付け・定義付け・推理)に取り組む。また、図書室を週に一回は活用するとともに、読書記録をつけ、年間の読書冊数を増やす。  
指標 各学年とも週に一度の朝学習に取り組み、基礎・基本の定着を図るとともに、学期に複数回の体験活動に取り組む。また、各学年とも、単元ごとの到達度テストを実施し、個々の課題を把握しながら確実な学力向上の取組を進める。

指標に対する達成状況(取組完了時)

①年度末の校内調査(図書室の貸し出し状況)において「一週間に1冊は本を読んでいる」児童の割合を前年度(82%)より増加させる。本年度⇒92%  
②水曜日の朝の学習が定着し、基礎・基本の習得につながった。また、到達度テストで個々の課題の把握することもできた。

達成

B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

### 6 昨年度からの改善点など ※自由記入

個々の学力向上に十分につなげることができなかった。また自主・自発的な学びにつながる体験活動については、どのような取り組みが効果的であったかを分析し、次年度につなげていく。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

<p>(1)取組内容【施策番号 施策名】</p> <p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】          対話や交流等、多様な言語活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようにする。また、読書環境のさらなる充実を図り、読書習慣の定着に努める。</p>	<p>委員会使用欄</p>	<p>達成</p> <p>B</p>
<p>①予算内訳          おはなし会に係る報償費@4,300×3名=12,900          体験活動に係る報償費@4300×6名=25800（ウリナラ課外授業）</p> <p>②決算内訳          おはなし会に係る報償費@4,300×0名=0（コロナウィルスのため中止）          体験活動に係る報償費@4300×5名=21500（ウリナラ課外授業）</p>		
<p>(2)取組内容【施策番号 施策名】</p> <p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】          多様な体験活動を通して、児童自らが自主的・自発的に学びに取り組む機会を充実させる。また、到達度テスト等を用いて、各教科における観点別評価を効果的に          行い、児童一人ひとりの学力向上を図る。</p>	<p>委員会使用欄</p>	<p>達成</p> <p>B</p>
<p>①予算内訳          体験活動に係る児童交通費@224×22名=4928（1年大阪城公園）          体験活動に係る児童交通費@192×18名=3456（2年キッズプラザ）          体験活動に係る児童交通費@512×17名=8704（3年今昔館）          体験活動に係る児童交通費@312×17名=5304（3年ハルカス）          体験活動に係る児童交通費@300×18名=5400（4年科学館、阿倍野防災センター）          体験活動に係る児童交通費@126×24名=3024（5年コリアタウン）          体験活動に係る児童交通費@264×19名=5016（6年大阪城戦跡）          体験活動に係る児童交通費@350×19名=6650（6年キッズニア）          体験活動に係る児童交通費@176×19名=3344（6年市議会見学）          体験活動に係る児童交通費@256×35名=8960（34年海遊館）          体験活動に係る付添者交通費@504×4名+下見1120=3136（1年大阪城公園）          体験活動に係る付添者交通費@414×4名+下見920=2576（2年キッズプラザ）          体験活動に係る付添者交通費@812×2名=1624（3年ハルカス）          体験活動に係る付添者交通費@414×2名+下見=2088（3年今昔館）          体験活動に係る付添者交通費@252×3名+下見=1116（5年コリアタウン）          体験活動に係る付添者交通費@584×2名=1168（6年大阪城戦跡）          体験活動に係る付添者交通費@684×3名=2052（6年キッズニア）          体験活動に係る付添者交通費@504×2名+下見=1032（6年市議会見学）          体験活動に係る付添者交通費@576×5名+下見=5440（34年海遊館）          体験活動に係る使用料@400×18名=7200（2年キッズプラザ）          体験活動に係る使用料@200×17名=3400（3年今昔館）          体験活動に係る使用料@360×17名=6120（3年ハルカス）          体験活動に係る使用料@240×18名=4302（4年科学館、阿倍野防災センター）          体験活動に係る使用料@2,862×19名=54378（6年キッズニア）          体験活動に係る使用料@450×35名=15750（34年海遊館）          体験活動に係る付添者使用料@1,200（4年科学館、阿倍野防災センター）          体験活動に係る付添者使用料@720（6年キッズニア）          体験活動に係る付添者使用料@3,564（6年キッズニア）          体験活動に係る委託料@120000（芸術鑑賞）          標準学力調査3776          学習プリント（国語）44400          学習プリント（算数）4400          学習プリント（社会）56550          学習プリント（理科）67020          学びサポーター5時間/年間170000</p> <p>②決算内訳          体験活動に係る委託料@100000（芸術鑑賞）          学習プリント（国語・算数）28652          体験活動に係る使用料@450×35名=15750（34年海遊館）          体験活動に係る使用料@360×17名=6120（3年ハルカス）          体験活動に係る使用料@400×20名=8000（2年キッズプラザ）          体験活動に係る使用料@240×19名=4560（4年科学館、阿倍野防災センター）          体験活動に係る使用料@2,915×16名=47060（6年キッズニア）          体験活動に係る付添者使用料@3,630（6年キッズニア）          チューリップ、ヒヤシンス球根5600          ぐにゃぐにゃだこ5060          標準学力調査212370          いろがみ、マジックなど60662          体験活動に係る児童交通費@256×35名=8960（34年海遊館）          体験活動に係る児童交通費@264×17名=4488（6年大阪城戦跡）          体験活動に係る児童交通費@140×17名=2320（3年ハルカス）          体験活動に係る児童交通費@224×22名=4928（1年大阪城公園）          体験活動に係る児童交通費@192×17名=3264（2年キッズプラザ）          体験活動に係る児童交通費@192×16名=3072（3年今昔館）          体験活動に係る児童交通費@300×17名=5100（4年科学館、阿倍野防災センター）          体験活動に係る児童交通費@224×22名=4928（5年コリアタウン）          体験活動に係る児童交通費@344×16名=5504（6年キッズニア）          キャリア教育講師謝礼4300          学びサポーター5時間/年間163000          体験活動に係る付添者交通費21112</p>		

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。  
 委員会使用欄は空欄としてください。